

第60回富山県発明とくふう展 内容説明書 (令和4年度)

受付番号	1001	学校No.	287
ふりがな	まえだ ひろと	学校名	富山県立富山工業高等学校
氏名	前田 寛斗	学年	第3学年
ふりがな	ひっきようとうえいそうち「まえざわしよちょう」		
作品の名称	筆記用投影装置「前沢書長」		
<p>(特 徴) 自分の書きたい文字や絵を書面に投影して、その投影像をなぞり書きするだけで、直筆で美文字を書くことができる筆記支援装置です。直筆によって、人間味のある質感で手紙や書道、絵画などが書けたり、書く動作によって学習の記憶が定着できたり、脳細胞に働きかけて脳機能を回復させたりするなどの様々な効果があります。また、スマホやタブレットに表示させた文字や絵を紙面に自由に投影でき、電源と通信の無線化を実現したことにより、いつでもどこでも使用できます。さらに、投影する範囲を制限してまぶしさを低減しています。</p> <p>(使い方) 本装置は、プロジェクター機能のある電子基板を書面上に投影像を形成するように配置して画角を設定したシンプルでスマートな構造をしており、書面の後方に装置を設置して、書面に投影された像をなぞるだけで、きれいな文字や絵を書面に書くことができます。</p> <p>また、本装置は、Wi-Fiでスマホやパソコンと接続されており、自作した筆記用アプリを使用することで、様々なユーザや用途に合わせて、使用することができます。例えば、児童生徒や社会人を対象とした学習アプリでは、ひらがな、漢字、ことわざ、英語、専門用語などを書面に投影してなぞり書きすることで、直筆による定着度の高い学習をすることができます。</p> <p>また、高齢者や障がい者を対象とした脳トレ・リハビリアプリでは、書道、手紙、風景画などを書面に投影してなぞり書きすることで、脳や手の機能を向上・回復させることができます。</p> <p>◇ 作品を作った動機や参考にしたものがあれば、下記 () の中に○印をつけて下さい。</p> <p>① () テレビ、科学雑誌、参考図書など ② () 発明くふう展、科学館、大学祭、各種のイベントから ③ () 講師や先生、両親などからヒントをもらった ④ () 発明クラブ、理科の学習、各種工作教室から ⑤ (○) 高校の課題研究で班員が協力して考えた</p>			

略図(鉛筆書きでもよい)又は写真を貼り付けて作品の特徴を説明して下さい。
 (※審査用にコピー(縮小)しますので、濃く見やすく作成してください。)

筆記用投影装置 “前沢書長”



誰でも美文字に!!!
 脳の働きを活性化!
 自己肯定感が向上!!!

なぞり書きした実物



文字



絵



特徴①：スマホやタブレットに表示させた文字や絵を、紙面に自由に投影することができる！

特徴②：投影する範囲を制限して、まぶしさを低減！

特徴③：電源・通信の無線化に成功！

いつでもどこでも使用できる!!!

【記載注意事項】

- この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
- 従来のもの(方法)と比べて、どこを(何を)どのようにくふうしたか、要点をわかりやすく、図または写真でご説明下さい。
- 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。
- この内容説明書は出品申込書と一緒に一覧表を添えて、令和4年9月20日(火)までに事務局へ提出して下さい。